



新潟教区報 第126号
2019(令和元)年10月1日発行

二〇一九年度子ども報恩講報告

ほうおんこう

地蔵堂組浄専寺住職 岡山 秀義

日時 令和元年六月二十六日(水) 十六時三十分〜十七時三十分
会場 本願寺新潟別院(参加者五十名)
内容 おつとめ・お話・プラ板キーホルダー・腕輪念珠づくり・バルーン遊び等

今年もまた、本願寺新潟別院の本堂で子ども報恩講を開催いたしました。始めにオリエンテーションを行ったあと、みんなで重誓偈じゅうせいげのおつとめをし、ご講師の熊原博文さんから仏さまの願いや「いのち」の尊さ「友達」の大切さをお話しいただきました。身近なテーマということもあり、子どもたちはご講師の問いかけに考えたり答えたりしながら、お話に聴き入っていました。

その後、各ブースに分かれて仏さまの前で一生懸命あそびました。腕輪念珠づくりでは、難しいところはスタッフの方々に助けてもらいながら、小さな手で自分だけの腕輪念珠を作りあげていました。

プラ板キーホルダーづくりでは、好きな絵を描き、キーホルダーにしてお母さんにプレゼントしたいと頑張った子もいました。

少年連盟会長力作のダンボールゲームではクリアを目指し「よっしゃー!」と大きな声が絶えませんでした。

バルーン遊びの風船が割れる音に驚いた後すぐに笑いあったり、最初から最後まで仏さまと一緒に笑い声・笑顔いっぱい溢れる子ども報恩講でした。

本願寺新潟別院輪番・新潟教区教務所長就任・退任のご挨拶



有難うございます
三年間、新潟教区の僧侶・寺族・門信徒の皆様には、大変お世話になり有難うございました。

振り返れば、あまりに膨大な思い出や出来事がありましたので、一つひとつ申し述べることが出来ませんが、少しだけ触れてみます。

それは着任早々の事、会計を担当している職員さんが「所長：職員給料を払うお金がありません」と、駆け込んできたことでした。その時は、何とか遣り繰りできましたが、賦課金の値上げをした矢先ながらも、値上げた額では数年しか持ちこたえられないことは明白でした。賦課金については、皆様方には更なるご心配とご苦勞をお掛け致しました。然し結果、その場しのぎの運営ではなく、将



本年四月より新潟教区教務所長、新潟別院輪番を拝命し、早いもので半年が過ぎました。皆様には、組巡回協議会（移動教務所）や各教化団体の総会、研修会、また教区委員会の各部会などで教区の活動に、熱心に取り組みご尽力いただいておりますこと厚く御礼申しあげます。

ここ新潟（越後）は、「承元の法難」で親鸞聖人が国分に配流され、詳しい越後での生活は謎のままですが、聖人はご赦免からも数年間越後各地を行脚され、初めて民衆に布教伝道活動に勤しまれた地であります。この度、この越後の地に赴任したことは、本当に有り難いご縁をいただいたと思っております。

聖人が配流された当時の生活環境は厳しいものであったであろうと想像します。しかし、聖人はこの地の民衆と共に家庭の中で

来を見据えた教区・別院の運営を考えて行く機会が設けられたことは、大変意義深い事であったと思っております。

それは、それぞれが預かりし、お取り持ちをされている寺院をどのようにしたいかと考えることと同じだと考えるからです。さまざまなことを止めてしまうことは簡単ですが、そのことがご法義の繁盛に繋がるのか否か。道の選択は重大です。

教区や別院の方向性の選択や皆様方の歩まれる人生が、阿弥陀様に褒めていただけるようにとの思いの中に歩んで行かれることを願うばかりです。

唯々『有難うございました』と申し述べ、お別れいたしますが、またお浄土でお会いしましょう。

前輪番・教務所長 藤田 信証

仏の生活を始められました。ここに浄土真宗の原点があるのだろうと思います。越後の大地は、聖人にとってその後の人生にそして浄土真宗の教えに、大きな影響を及ぼした土地であったと言ってよいのではないのでしょうか。

専如ご門主はご親教『念仏者の生き方』の中で「国の内外、あらゆる人びとに阿弥陀如来の智慧と慈悲を正しく、わかりやすく伝え、そのお心にかなうよう私たち一人ひとりが行動することにより、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現に努めたいと思います」と述べられました。そのお心を体し、まだまだ教務所長としての経験も浅い身ではありますが、これからも多くのご縁をいただき、微力ながら新潟教区の護持発展に努め、浄土真宗のみ教えが広がる生活を送ってまいりたいと思います。今後とも皆様からのご指導ご鞭撻をお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

輪番・教務所長 岩佐 善静

法話 「照らしだされた私の姿」

巻組源昌寺住職 前田 昌光

最近は何も落ち着いてきましたが、今もパワースポットという言葉が耳にすることがあります。自然のものであったり、古くからある建造物であったり、様々なものを総じてその言葉が使われています。何か大きな力が宿る場所ということなのでしょう。私にはどのようなパワーがあるのかはわかりませんが、それを用いて町おこしをしたり、商品にしたりと、煩雑化^{はんざつか}して価値を落としているようにも思いますし、まやかしのように聞こえてなりません。

私は普段から腕輪になっている念珠を身に付けています。以前ある人とその腕輪念珠を「それはパワーストーンですか？」と尋ねられたことがあります。私は「違いますよ。ただのお念珠ですよ」と答えると「じゃあ何故付けているのですか？」と返答がありました。どうやらその人にとって、パワーも貰えないのに何故着けるのか不思議だったのでしよう。

では、なぜパワーがほしいのでしょうか？それは健康のため？幸福になるためでしょうか？色々あるでしょうが、それらは全て自己を満たすための欲望ではないでしょうか。確かに健康でありたい、幸福でありたいと願うのは誰もがそうだと思います。しかし現実はどうもうまくいかないものです。その現実の不安からパワースポットに頼るのではないのでしょうか。

阿弥陀如来は現実の苦難から逃れ自己を満たそうとしているこの私の姿を照らし出してくださります。その光明に照らし出された自分の姿に気づかされたとき、現実の苦難を避けるのではなく、自己を満たすだけではない現実と向き合える私の姿が自ずと見えてくるのです。



新潟別院の清掃奉仕について

平素から新潟別院の清掃奉仕にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

本願寺新潟別院の清掃奉仕は、門徒推進員連絡協議会主催で一月から三月を除く年九回と、仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟主催で六月（報恩講前）、十月（謝恩講前）の年二回が行われている他、有志や組の清掃奉仕も不定期に行われています。

主な活動は境内地内の雑木雑草の処理や除草剤散布、建物内の清掃や仏具のお磨きです。また、十一月は樹木などの冬囲い、四月は冬囲いの撤去作業を行っております。今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



建物内清掃(窓拭き)



仏具お磨き



庫裏冬囲い



雑木・雑草処理



樹木冬囲い

寺院巡り

地蔵堂組 勝誓寺

住所 燕市熊森一六五

電話 〇二五六―九七―三五五四

当寺は現在燕市熊森（旧分水町）にあります。天文年間末に入寂した善照を開基とし、現任職で二十四代であると伝えられています。

火災の記録はないものの、明治二十八年の横田切れ水害により文書の記録が失われています。ご本尊のお軸までが流され、現在の燕市水道町で発見されたと伺うほどです。限られた宝物の裏書きなどから推測される言い伝えでは、井波の瑞泉寺門徒であり、信濃国より移住してきたそうです。

当初は三島上条に寺基を定めていました。その後、時期も理由も不明ですが現在の地へと移転しております。現在の本堂は昭和四十七年に再建されました。鉄骨構造で七間四面です。木造で九間四面であった旧本堂の仏具を用いていますので、



勝誓寺本堂

お内陣にはやや大きめの須弥壇しゆみだんとなっております。

他には、第二十一代善環だいしゅうせえんが北海道布教に用いた大聖世尊像（一丈六尺、乾漆像）が本堂脇に安置されております。

昭和二年に発会したお経会「昭和会」が続いており、百周年も視野に入っております。

今後の予定(会場記載がないものは新潟別院で行います)

・LGBTに関する研修会

日時 九月二十五日(水) 十三時三十分
テーマ 「性と生について考える」
講師 新井久美子さん(新潟県高等学校教職員組合同和教育推進委員会委員長・新潟県立新井高等学校教諭)

・「東日本(第一連区)仏教壮年大会」・「仏教壮年会セミナー」

日時 九月二十八日(土) 十三時三十分
テーマ 「ともに聞きまことのよろこびを伝えよう」
講師 高橋哲了さん(仏教壮年会連盟講師・安芸教区妙蓮寺住職)
三浦明利さん(奈良教区光明寺住職)

・「御同朋の社会をめざす運動」推進現地学習会(事前研修会は九月九日)

日時 十月一日(火)〜二日(水)
会場 国立療養所粟生楽泉園(群馬県)
講師 「国立療養所粟生楽泉園」関係者

・仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合同清掃奉仕

日時 十月十九日(土) 九時三十分
清掃奉仕の他、バザー値付けを行う予定

・本願寺新潟別院謝恩講

日時 十月二十三日(水)〜二十四日(木)
講師 上戸 聰さん(本願寺派布教使・与板組隆泉寺住職)
高橋 純明さん(本願寺派布教使・長岡組西福寺住職)

・勤式・作法研修会

日時 十月二十三日(水) 十三時三十分〜十六時
テーマ 「仏事入門―法事について―」
講師 伊藤教恵さん(教区勤式指導員・巻組長光寺住職)

・新潟教区門徒総代会研修会(巻組主管)

日時 十月三十一日(木) 十三時
会場 岩室温泉ゆもとや
テーマ 「念仏者の生き方と社会問題」
講師 岡崎 秀磨さん(浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員)

ラジオ法話 新潟教区布教団による ラジオ法話

FMながおか 八〇.七 毎週月曜(金曜) 十六時十五分よりの放送中です。

(放送地域は長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、見附)

編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会

〒九四〇―二四〇二 新潟県長岡市与板町与板乙四三五六 本願寺新潟別院内

TEL: 〇二五八七二二二二〇 FAX: 〇二五八七二二二五三六